

講義科目名称： 基礎ゼミナール

授業コード： 2210500100

英文科目名称： Seminar for Basic Nursing Science

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1学年	2単位	必修
担当教員			
渡辺弘之、徐淑子、中村義実、エルダトン・サイモン、永吉雅人、石井角保、◎堀江正男、葛城美德			
添付ファイル			
授業種類	<p>【開講】 通年 【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 渡辺 弘之、徐 淑子、中村 義実、エルダトン・サイモン、永吉 雅人、石井 角保、◎堀江 正男、葛城 美德 実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>【大学の科目区分】 教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ○ ◎</p>		
到達目標	<p>基礎ゼミナールの目的は、①生涯にわたる学習活動に不可欠である、基本的な知的探求技術(アカデミックスキル)を研鑽すること、②人間の生物学的・社会的存在としての特質についての学びを深めること、③学生同士や教員との人間的な交流を通じて、個性を尊重し相互に刺激し合う関係を確立すること、④学問探究の面白さを深く自覚して、その推進者となる資質を獲得することである。</p>		
授業概要	<p>担当教員毎に10名前後の学生が配置されるセミナー形式とし、チュートリアル(少人数教育)形式の内容を生かし、選択される課題(テーマ)について全員参加で討論・調査・相談・報告(発表)を積み重ねながらステップ・アップしていく学習を行う。</p> <p>テーマは、各教員の専門性の違いにより多岐にわたるが、おおむね以下のような範疇が呈示されている。①写真表現と発表、②社会調査への招待、③思考の整理学、④比較文化、⑤支援技術、⑥血圧と脈拍の生理、⑦レポートの作成法とマウス臓器の組織観察、⑧分子生物学的実験手法と両生類の胚発生である。それぞれのテーマについては次ページ以降に担当教員毎にその詳細が記載されている。</p> <p>【注意】なお、ゼミナールは第1セメスター(前期)から第2セメスター(後期)にかけて実施されるが、教員によって期間は異なる。</p>		
授業計画	<p>1-15 授業内容</p> <p>授業形態：対面または遠隔</p> <p>学習課題：</p> <p>学習内容：授業は各教員がテーマに準じて配分・配慮した内容でおこなわれる。ただし下記にあげた項目は、基礎ゼミナールにおける学習活動に不可欠な基本的な知的探求技術(アカデミックスキル)と考えられ、それぞれの習得に関しては各教員が配慮する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文献・書籍検索 2. インターネット検索 3. 情報の整理方法 4. 研究機器・実験器具の取り扱い・操作方法 5. 討論の方法 6. 発表の方法(口演、展示) 7. 研究の整理方法 8. 論文・報告書の書き方 <p>各ゼミナールの課程には、共通してこれらのアカデミックスキルの学習が指導され、また、習得するための訓練内容が含まれる。</p> <p>備考：</p>		
事前・事後学習	各基礎ゼミナールの当該項目を参照		
評価方法、評価基準	各ゼミナールの専門性によって評価方法が異なるため、具体的な評価基準はゼミナールごとに各教員が受講学生に示す		
必携図書	各基礎ゼミナールの当該項目を参照		
参考図書・資料等	各基礎ゼミナールの当該項目を参照		
受講、課題、資料配布等のルール	各基礎ゼミナールの当該項目を参照		
教員からのメッセージ	各基礎ゼミナールの当該項目を参照		
オフィスアワー			